



8月16日 (火)

## 盲目であったのに、今は見える

聖書朗読 ヨハネ 9：13～25

私の目を開いてください。私が、あなたのみおしえのうちにある奇しいことに目を留めるようにしてください。

詩篇 119：18

パリサイ人はイエス様が間違っていることを証明したかったのですが、それが出来ずにいました。イエス様が盲目の人を癒し、その人が見えるようになったという誰もが見てわかることに異を唱えることが出来なかったのです。しかし、何と言っても目を癒すという奇跡が安息日に行なわれたことをパリサイ人は赦すことができませんでした。パリサイ人は、本当にその人が生まれつき盲目だったのか、その人の両親に確かめたいとさえ思ったのではないのでしょうか。しかしパリサイ人は、変えることのできない事実を受け入れなければなりませんでした。それは奇跡は田近に起こり、イエス様がその中心にいらっしゃったということです。それで彼らはその盲人に再び向き合い、イエス様がキリストであると彼が告白したら、彼を会堂から追放すると決めていました。ところが彼は自分が置かれている状況を告発者たちに抜け目なく伝えました。「私は盲目であったのに、今は見えるということです。」

私たちの多くが、同じようなことを言えると思います。主を知らなかったとき、自分の中心を仕事に置いて他のことをあまり重視していませんでした。しかし、今は人とのコミュニケーションや家族との時間なども大切であるということが分かります。主との関係が表面的だったとき、個人的な祈りやデポジションを心からしていたというより、ただ今日の課題だから聖書を読んで、表面的に祈るということをしていました。しかし、今はそうではなく主との深い関係を持つことの大切さがわかります。私たちが盲目であるなら、イエス様を見ることができません。そのことが今日の聖句から私たちが学ぶべきことではないのでしょうか。私たちが心の目を開けて、神様を中心とする生活送るならば、この世の人々は、私たちに起こる変化を無視することはできないでしょう。盲目であった人が見えるようになった時、その変化を見ないふりできなかったパリサイ人と同じように。

讃美歌 II 95

祈り 主よ、人々が私たちを通してあなたを見ることができるよう、私たちの目を開けて永遠なるものを見させてください。

イエス様のお名前において。アーメン。

フィリップ D. パターソン

8月17日 (水)

## イエス様とともに何がしたいですか？

聖書朗読 ヨハネ 11：54～57

来たれ。私たちは伏し拝み、ひれ伏そう。私たちを造られた方、主の御前に、ひざまずこう。

詩篇 95：6

イエス様は荒野に近い地方に去り、エフラ임という町にお入りになりました。ユダヤ人はイエス様を探していましたが、イエス様を礼拝するために探していたわけではありませんでした。ユダヤ人がしたかったのは、イエス様を捕えることでした。

イエス様を礼拝するとき、私たちの心の中はどのような状態ですか？ 心からイエス様を伏し拝みたいという思いで礼拝していますか？ それとも他のことをしたいと思いませんか？ 友だちに会いたいから礼拝に来ますか、それとも新しい服をちょっとみんなに見てもらいたいなあとと思って礼拝に来ますか。心から学びたいから礼拝に来ますか、それとも良い教えを聞きたいですか？ 私たちが礼拝する動機に注意を向けてみましょう。イエス様と何をしたいから礼拝に来るのでしょうか。

キリストの福音を聞く人の多くは、たとえ福音を頻りに聴いていたとしても、キリストの御霊を持っているとは限りません。しかし、みことば心から理解したいと望む人は、自分の人生とキリストのご生涯を完全に一致させるように努めなくてはなりません。

トマス ア ケンピス

讃美歌 320

祈り 天国の父様、あなたの御子を礼拝するとき、私たちを導いてください。私たちが真に礼拝するように、礼拝することを心から望むように私たちを助けてください。私たちが正しい動機を持つように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ビリー・W. シルビー

8月18日(木)

## 私たちはよみがえる

聖書朗読 ヨハネ 12:1~12

おおぜいのユダヤ人の群れが、イエスがそこにおられることを聞いて、やって来た。それはただイエスのためだけではなく、イエスによって死人の中からよみがえったラザロを見るためでもあった。  
ヨハネ12:9

土の中に埋まっている球根は、厳しい冬の間は養分を蓄えた休眠状態にあります。この間、植物は成長、発達、活動を完全に停止し、春がめぐってくるのを氷点下の中で何カ月も間、辛抱強く待ちます。そして、突然、植物は目覚め、急速に成長を始め、太陽に向かって押し上がり、土の上に顔を出して、その美しさと栄光をこの世に明らかにします。

マリアとマルタの兄弟のラザロは亡くなり、3日間、長い布で包まれて暗い墓の中に横たわっていました。しかし、イエス様は「ラザロよ。出て来なさい。」と大きな声で叫ばれました(ヨハネ11:43)。神様の御力とご栄光を示され、突然、ラザロが、誰もが見ることができるように墓から出てきました。この奇跡によって、多くの人たちがイエス様を信じました。

同じように、神様は、亡くなった方々が、天国で御子にお会いできることを約束してくださっています。「それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に引き上げられ、空中で主と会うのです。」(Iテサロニケ4:16~17)。私たちは神様のお約束を辛抱強く待ちながら、私たちもまたよみがえることを覚えて、心穏やかにいましょう。

讃美歌 269

祈り 親愛なるお神様、私たちは、御子、イエス・キリストがご自身の民である私たちを受け取られるために戻って来てくださることを知っているので安心していられます。ご栄光の中でよみがえる備えをしながら、抱強く待つて見守ることが出来ますように。

イエス様のお名前において。アーメン。

コニー・シンプキンス・トーマス

8月19日(金)

## 心からそう思ったのだけれど

聖書朗読 ヨハネ 13:36~38

私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。 イザヤ 53:6

私が最初に働き始めたのは、出版業界でした。その職場で、ある人が自分は罪を犯したことがないと宣言したのです。私は、そう言った人物に、「そのことを今言ったこと自体、君はすでに罪を犯したことになりますよ」と言いました。この世には誰も完全な者はないからです。その人は自分は罪を犯したことがないと心から思っていたようでしたが、それは間違いでした。

丁度その時、私は聖書の中の12弟子のひとり、ペテロを思い出しました。ペテロはイエス様のためなら死ぬことも厭わないと言いました。すると、イエス様は、あなたは夜が明ける前に三度私を知らないというペテロに伝えました。そして、その通りになりました。ペテロは、本心からイエス様にそういったのですが、それとは反対のことを言ってしまいました。つまり、ペテロは自分の弱さからイエス様を三度知らないと言ってしまったのです。ペテロは、イエス様が話されたことがその通りになり、激しく泣きました。しかし、ペテロは悔い改め、50日後復活のイエス様のことを人々に大胆に語り始めました。

あなたも、自分が心からそう願ったにも関わらず、そうできなかったことがありますか。私はそのようなことを何百回も経験しました。しかし、主は私に忍耐強くあられ、どんなときにも、主に立ち返る道を備えて下さり、今こうして主に赦され、主に従って生きたいという思いで生きています。

讃美歌 267

祈り お父様、私が心からあなたから頂く知恵と力をもってあなたにお仕えできますように助けて下さい。

私の全てをご存知のイエス様の御名によって。アーメン。

グローバー・シップ

8月20日(土)

## ざわつく心

聖書朗読 ヨハネ 14:1~4

私の祈りを聞いてください。主よ。私の叫びを耳に入れてください。私はあなたとともにいる旅人で、私のすべての先祖たちのように、寄留の者なのです。

詩篇39:12

私の何人かの友達はあることと闘っている真っ只中です。戦いは魂をもむしばむことが可能です。ガンとの闘いは、その一つの例です。ガンとの闘いは、人間に痛みをもたらします。治療をし、ある時は孤独や恐れを感じるのです。しかし、そのようなことが起こっても、信仰は決して揺るがされないことがないのです。そういう時にこそ、私たちは心を騒がすことなく、神様を信じ、父の家には住まいが沢山あることを思い出すことができます。

あなたが直面している問題がどんなものであったとしても、イエス様のみことばは、あなたに語り掛けて来ます。神を信じ、イエス様を信じることの大切さを。私たちの人生で問題はつきものです。しかし、私たちの心は、神様がいらっしゃり、私たちを愛して下さり、贖って下さったことを確信することが出来ます。私たちの問題は一時的であり、主は、私たちの乗り越えられない困難をお与えにならないということをお約束して下さい。あなたが今何かと闘っているならば、あなたの心を主に向けて、すべてを主にお委ねして下さい。

私はいつ、どのように主をご存知かわかりませんが、  
主は私の心配をご存知です。  
主は私の心配を分かって下さり、主の  
御力が私の人生に触れて下さり、助けて下さる  
ことを確かに感じます。

Mary Oler

讃美歌 520

祈り 主よ、どうぞ、あなたが私たちをどれくらい愛して下さっているかをいつも私たちが分かるようにしてください。  
イエス様の御名によって。アーメン。

ジェリー・リームズ

8月21日(日)

## 彼を知っていますか

聖書朗読 ヨハネ 14:8~14

私はキリストとその復活の力を知り、

ピリピ3:10

毎日、私の友人の声がラジオから流れていました。多くのリスナーがラジオから流れてくる私の友人の短いメッセージを聴いていました。そして、最近、私たちの教会に訪問者がありました。そこには、私の友人と私が一緒にいました。その訪問者は私の友人に会ったことはなかったのですが、その声を聴いただけでこう言いました。「あなたを知っています！」ラジオの番組をいつも聴いていたので、訪問者は、私の友人の声をしっかりと覚えていたからです。しかし、声は知っていましたが、友人のことは何も知りませんでした。

さて、今日の聖書の箇所を見てみて下さい。イエス様が、「ピリポ、こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。」と言いました。ピリポと弟子たちは、約3年の間イエス様と共に寝食を共にして旅をしました。そして様々なことを学び、イエス様が行なった奇跡も見えて来たのです。しかし、ピリポはイエス様の心の中を知ることが出来なかったのです。ピリポは、イエス様が天のお父様の全てをお見せになったにも関わらず、その全てを理解することが出来なかったのです。そのことは、イエス様を失望させました。

今度は自分のことを考えてみたいと思います。私はイエス様を心から知っているのでしょうか。礼拝に出席して、説教を聴いて、水曜の祈祷会に参加しているからと言って、イエス様を知っていることにはならないのです。もう一度自分自身に質問します。私は本当にイエス様を知っているのでしょうか。聖書を開き、そのみことばを学ぶために十分時間を裂き、福音をしっかりと心に入れているのでしょうか。イエス様を知り、イエス様の心を益々深く知ることにより、神様を知ることができるのです。

讃美歌 459

祈り お父様、イエス様があなたの愛を知らせて下さるために、この地上に降りて来て下さりありがとうございます。日々、あなたを深く知ることが出来ますように祈ります。

イエス様の御名によって。アーメン。

サリー・ジェーン・シャンク